

社会司牧通信



202608

★印はカトリック関連

平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスクでは、教会が社会へ発信しているメッセージや社会の中で活動する団体の情報をお知らせします。社会へのチャレンジの第一歩として、積極的にご参加ください。

★ 2026 平和行事のご案内 - カトリック広島司教区

日時：8月5日(水)・6日(木)～9日(日)

アーカイブ配信ご覧いただけます。



★ 聖エジディオ共同体とともに祈る 75 時間祈りの集い

期間：8月6日 8:15～8月9日 11:02

ヒロシマ～NY～ローマを繋いで祈ります。

共同祈願の送付先：vigilforpeace@santegidio.org

ライブ配信：[平和のための守夜 - サンエジディオ共同体](#)



● 広島と長崎つなぐ 75 時間、平和への祈り オンラインで世界とともに（朝日新聞） - Yahoo!ニュース



★ 「令和 8 年熊本地震」被災者のための祈りと募金のお願い - カトリック広島司教区



①福岡教区に送る目的は、教会・信徒のために

②カリタスジャパンへの献金は、すべての被災者のために

7月28日 16:28、震度7に襲われた熊本一帯。突然の地震でお亡くなりになられた方の御国での永遠の安息を祈り、残されたご遺族、被災された方々に主の励ましがある様お祈りいたします。真夏の炎天下での被災は、想像以上に負担が大きく、2次被害の危険性もあります。一刻もライフラインの復旧、避難所の整備がなされますように。そして、わたしたちも日頃の備えを確認することが重要だと思いました。

● 外キ協全国リレー集会 2026 in 広島

条例制定ネットワーク第 11 回学習会

「外国人排斥に対峙して多民族・多文化共生社会を構想する」

*チラシ添付あり

日時：2026 年 8 月 23 日(日) 15:00～17:00 (開場 14:30)

会場：広島カトリック会館 資料代：500 円

講師：佐藤信行さん（外キ協事務局顧問）

* 配信有(ご希望の方は、QRコードからお申し込みください。)

2024 年入管法が改定され、ますます難民申請者、非正規滞在者への締め付けが強化され、人権の観点から深刻な内容となっています。

改定入管法を学び、外国人の人権について考える機会になると思います。カトリック教会にも、外国製の司祭や信徒の多くいらっしゃいます。

外キ協全国リレー集会2026 in 広島
条例制定ネットワーク第11回学習会
外国人排斥に対峙して
多民族・多文化共生社会を構想する
さとう のぶゆき
お話：佐藤信行さん
2024年に入管法が改定され、難民申請者、非正規滞在者への締め付けが強化されました。また、昨今の選挙では、排外主義的主張が目立つようになりました。日本社会における難民・外国人に対する差別の問題は、深刻化しています。
多民族・多文化共生社会形成を求め、差別禁止条例制定に向けて、学び、考える時になればと思います。

2026年
資料代 500円
8月23日(日)
15:00～17:00
会場 広島カトリック会館 多目的ホール
広島市中区鞆町4-42 世界平和記念聖堂敷地内

講師プロフィール

在日大韓連合教会 (KCC) 在日韓国人問題研究所 顧問
外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連帯協議会 (外キ協) 事務局 顧問
移住者と連帯する全国ネットワーク (移住連) 運営委員
人権差別撤廃NGOネットワーク (ERDネット) 運営委員
外国人・難民相談会 運営委員 広島県社会性ネットワーク (EDWAN) 代表

オンライン同時配信、アーカイブ配信いたします。

ご希望の方は、以下URLまたは、QRコードからお申し込みください。
<https://forms.gle/Z1FMN2WdP5g9N8M8>
申込み締め切り：8月20日(木) 正午



共催：外国人住民基本法の制定を求める全国キリスト教連帯協議会 (外キ協)
外国人住民との共生を実現する広島キリスト教連帯協議会
「広島市差別のない人権尊重のまちづくり条例」制定を求めるネットワーク
協力：カトリック広島教区正義と平和推進デスク、在日大韓連合教会西部地方教会社会部
日本基督教団西中国教区広島区分区、広島YWCA
集金問い合わせ：条例制定ネットワーク joreiseitai.net@gmail.com
外キ連 info@social-desk.net



「石さん、私の中にある自分が正しいんだっていう思い、自分を守りたいという思いをどうかあずかってね。」マコは手のひらにのせた石にそんな願いを込めて、大きな木の下にその石を埋めた。これはバリー・ザ・ウェポン (Bury the weapon) という先住民の儀式だ。東京のある公園で待ち合わせてエミリさんに久しぶりに会った。マコの霊的な旅の水先案内人のような存在のエミリさんは、この静かな儀式の時間へとマコを導いてくれたのだ。

時間を数週間前に遡る。マコは友人から勧められた『オールド・オーク』という映画をミニシアターへ見に行った。舞台はイギリスのとある寂れた町。以前は栄えていた街も、炭鉱が閉じられてからは貧困問題がどんどん深刻化している。そんな町にシリアから難民の家族がやってくる。一部の住民たちがこの家族に罵声を浴びせたり、嫌がらせをしたりする。難民家族を守ろうとする人々との対立が激しくなっていく。そんな物語を、マコはどこか遠い国の話ではないと思った。今、同じような排外的な空気が日本社会に広がっていることをマコは感じていた。思い出されるのは、ある友人との会話だった。国民の安全のための入国管理という名のもと、難民申請をしている人たちにますます厳しい政策をとっている日本政府のやり方に対してマコがSNSにあげたメッセージについてくっついてかかってきたのだ。「あなたさあ、日本社会に不満があるならこの国から出ていけばいいじゃない。日本が嫌だっていう外国の人たちは日本から出ていけばいいじゃない。」最後は耳を覆いたくなる言葉を吐かれてその会話は終わった。心が痛かった。自分が寄り添っている外国籍の仲間たちがこの言葉を聞いたらどれだけ傷つくだろうか。こんな身近にこのような考えを持っている人がいたんだ。いや、実はこれが日本の多くの人たちの思いなのかもしれない。怒りと悲しみが湧いてくるけれど、その感情にのみこまれないようにしなきゃと思う。瀬川神父さんが言っていた。「ヘイトスピーチをする若者たちの心にも傷があって、その傷がそうさせているんじゃないかな。」被害者も加害者も傷を抱えていて、その傷を癒していかなければ本当の平和は築けない。そう瀬川神父さんが言っていた。では、自分はどうすればいいんだろうか。



苦しい心のうちをエミリさんとビデオ通話した時に分かちあってみた。エミリさんは、先住民の知恵の儀式を一緒にしてみよう、と提案してくれた。先住民たちは、複数の部族が集まる時は、キャンプの外の土に持っていた武器を埋めてからあったのだという。そこから生まれた儀式。人間関係で問題が生じた時、その負のエネルギーの渦から一歩身を引き、敵対心や怒り、自分が正しく、相手は間違っているといった思いなどを、石や枝などにあずけ、大地がその負のエネルギーを変容してくれるようにと祈り、土に埋めるというものだ。

日本社会を覆っているこの閉塞的な空気の奥に世代を超えて渡されてきてしまった傷があるなら、私は戦う武器を一度おいて、癒しの道を歩まなければならない。その道の先を行くエミリさんが言う。「マコちゃん、この道はイバラの道よ。覚悟はある？」大地がこの道を行くようにと呼んでくれている気がするのだ。「うん、この道を行かなきゃどこにも進んで行けないから。」そう決意をして、土に埋めた時、爽やかな風が吹き抜けた。

(つづく)

★カトリック広島教区 ハラスメント相談窓口：広島教区人権擁護デスク★

受付時間 木曜日(祝日を除く) 9:00~16:00 電話番号 082-555-1127

メール：desk-hiroshima@catholic.hiroshima.jp

H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social**H・Social

発行 カトリック広島教区 平和の使徒推進本部 正義と平和推進デスク

TEL：082-221-6613 FAX：082-221-6019 E-Mail info@social-desk.net